



No.16 October, 2018

関東森林学会ニュースレター

関東森林学会事務局

第8回関東森林学会大会 ごあいさつ

学会長 東京農工大学 土屋 俊幸

関東森林学会会員の皆様におかれましては、研究・教育・業務等でご多忙のことと存じます。この度、行事を担当いただきました埼玉県寄居林業事務所のご尽力により「第8回関東森林学会大会」を来る10月22日（月）に東松山市の東松山市民文化センターを会場に開催する運びとなりました。準備にあたられます担当者の方々に厚くお礼申し上げます。本大会が会員の皆様の有意義な研究交流、活発な意見交換の場となりますことを強く期待しつつ、ごあいさつとさせていただきます。

第8回関東森林学会大会プログラム

開催日 2018年10月22日（月）

会 場 東松山市民文化センター

〒355-0024 埼玉県東松山市六軒町5-2 （電話 0493-24-2011）

東武東上線東松山駅東口 バス（③乗場パークタウン五領行き）約10分

徒歩約16分 距離約1.3km

駐車場（無料 約200台）

※東松山駅までは急行・準急の利用が便利です。

※駅～会場間の徒歩の道順については、次ページの地図をご参照の上、検索して調べていただくことをお勧めします。

（会場ホームページ） <https://www.higashimatsuyama-bunka.jp/>

○日 程	9:00 ～	大会受付
	9:00 ～ 9:30	幹事会
	9:30 ～ 17:00	研究発表
	12:20 ～ 13:00	総会
	13:00 ～ 14:00	公開講演「森林から丘陵、平坦地へ拡大する野生動物被害」 古谷益朗（埼玉県農業技術研究センター担当部長）
	17:30 ～ 19:00	懇親会（1階 第2多目的室）



○発表会場と発表部門

※発表会場と発表部門は次頁会場案内図をご参照下さい。

※各発表部門の時間割は、発表プログラムでご確認下さい。

※昼食は周辺のレストラン等をご利用下さい。

○研究発表に関する注意点

1. 今回は要旨集を当日参加者以外配布しません。各自関東森林学会 HP (<http://www.kantoforest.jp/>)にアクセスの上、印刷ご持参下さい。
2. 研究発表の座長は輪番制です。プログラムでご確認下さい。
3. 配布資料がある場合は、各自必要数をご持参下さい。
4. 各会場に液晶プロジェクターを用意しますが、OHP は用意しません。なお、本大会では Windows10 に Microsoft Office Standard2016 をインストールしたパソコンを使用します。事前に動作確認をしていただくようお願いいたします。
5. 液晶プロジェクターを使用される方は、午前の発表の方は当該会場の発表開始までに、午後の発表の方は 14 時 15 分までにファイルを各会場の担当者にお渡しください。
6. 発表時間は 12 分、質疑応答 3 分の計 15 分です。時間厳守で各講演を進めてください。

第8回関東森林学会大会 会場位置図

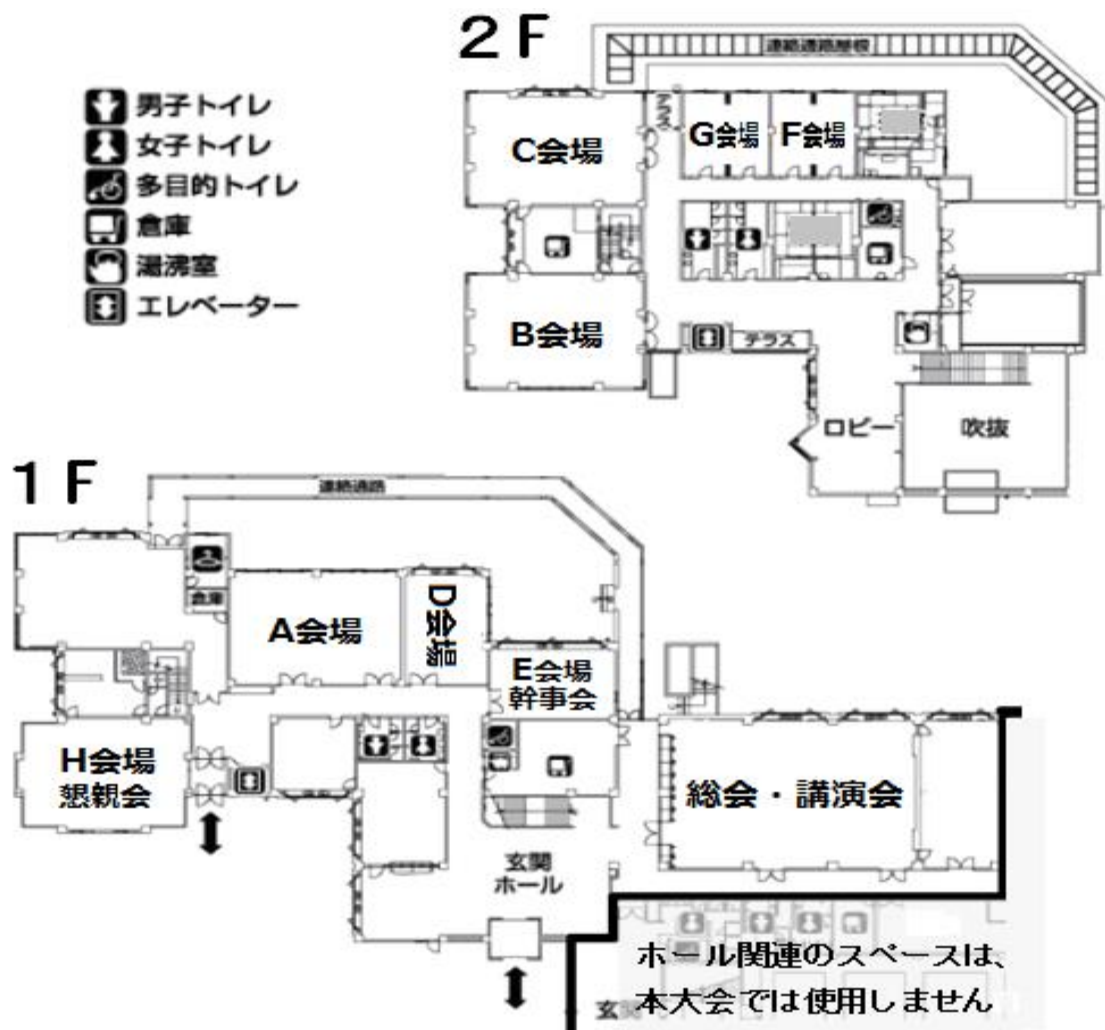
東松山市民文化センター 会場一覧表

会場	階	場所	午前	午後
総会・講演会	1	大会議室		総会・講演会
A 67名	1	第1会議室	経営・風致	経営・風致
B 67名	2	展示室A	防災	防災
C 67名	2	展示室B	造林 / 育種	育種
D 23名	1	第2会議室	動物	立地
E 23名	1	第3会議室	幹事会 / 特用林産	林政
F 18名	2	第4会議室	生理	樹病
G 18名	2	第5会議室	林産	生態
H 36名	1	第2多目的室	幹事・事務局	幹事・事務局 / 懇親会

幹事会 9:00～9:30 1階 E会場 第3会議室)

研究発表時間 9:30～12:00 14:30～17:00

懇親会 17:30～19:00 1階 H会場 第2多目的室)



○発表プログラム

午前 1

時間	A会場 第1会議室 (67名)				B会場 展示室A (67名)				C会場 展示室B (67名)			
	番号	題目	講演者	座長	番号	題目	講演者	座長	番号	題目	講演者	座長
9:30～9:45									造 林			
									24	間伐率の異なるヒノキ林床のクロモジの分布	上原 巖 (東京農大)	香山雅純
9:45～10:00									25	新潟県産スギ由来の不定胚形成細胞からの無花粉個体の再生	丸山E.毅 (森林総研)	上原 巖
10:00～10:15	経営・風致				防 災							
	1	地上型レーザーキャナーによる林分構造の計測－67年生ヒノキ人工林の間伐区と無間伐区での事例－	西園朋広 (森林総研)	川端俊介	13	樹形と樹皮の相違に着目した樹幹流生成量と流出特性の比較	白木克繁 (東京農工大)	瀧澤英紀				
10:15～10:30	2	宇都宮大学船生演習林広葉樹林への簡易型地上レーザーキャナーの適用	山本嵩久 (宇都宮大)	西園朋広	14	樹幹流の安定同位体比および溶存化学成分の1降雨中の時間変化	久保田多余子 (森林総研)	白木克繁	27	粉炭施用の有無によるクロマツコンテナ苗の活着と初期成長への影響	荒木功介 (千葉県農林研)	勝木俊雄
10:30～10:45	3	UAVを用いた風害被害林分の3Dモデリング－2016年16号台風被害の事例－	高橋正義 (森林総研)	山本嵩久	15	樹木が発揮する引き倒し抵抗力の模型実験	岡田康彦 (森林総研)	久保田多余子	28	ヒノキ人工林において、除伐作業の手法が林分組成に及ぼす影響	須崎智応 (関東森林管理局)	荒木功介
10:45～11:00	4	北茨城市人工林における森林機能の関係性の解析	山田祐亮 (森林総研)	高橋正義	16	熊本地震による山頂付近の亀裂斜面の地盤強度の検討	浅野志穂 (森林総研)	岡田康彦	29	セルトレイを播種によるスギコンテナ育苗苗手法の検討	保科裕紀子 (栃木県林セ)	須崎智応
11:00～11:15	5	高齢林分における樹高成長曲線の選択－四国地方スギ人工林の事例－	福本桂子 (森林総研)	山田祐亮	17	緩勾配溪流を流下する土石流の流動特性に及ぼす間隙水の微細砂濃度の影響	本田尚正 (東京農大)	浅野志穂	30	带状伐採地に植栽された落葉広葉樹5種の成長に及ぼす影響	長池卓男 (山梨県森林研)	保科裕紀子
11:15～11:30	6	放置竹林材における竹集成材利用の現状と課題－K工房を事例に－	吉野聡 (東京農大)	福本桂子	18	林分構造を示すデータに基づいた水資源賦存量推定モデルの開発	玉井幸治 (森林総研)	本田尚正	31	エチオピア北部に植栽した樹木の炭の添加効果	香山雅純 (森林総研)	長池卓男
11:30～11:45	7	三重県紀北町におけるポット苗生産事業の現状と課題	川端俊介 (東京農大)	吉野聡	19	みなかみ演習林の2流域における融雪水の溶存イオン流出特性	瀧澤英紀 (日本大)	玉井幸治	育 種			
									32	穂木の処理と固定方法の異なるクロマツ・アカマツの接ぎ木の試み	米道学 (東大千葉演林)	生方正俊

○発表プログラム

午後 1

時間	A会場 第1会議室 (67名)				B会場 展示室A (67名)				C会場 展示室B (67名)			
	番号	題目	講演者	座長	番号	題目	講演者	座長	番号	題目	講演者	座長
14:30～14:45	8	小売店で販売されている森林認証ロゴのある製品の実態－神奈川県内の店舗を対象として－	杉浦克明 (日本大)	齋藤英樹	20	広葉樹を用いた海岸防災林造成における客土の効果と下刈省略の可能性	宇川裕一 (千葉県農林研)	高野和貴	33	さし木試験におけるスギ第2世代精英樹候補木の4生育期間の成長特性	高島有哉 (育林セ)	米道学
14:45～15:00	9	東京農業大学奥多摩演習林資料館リーフレットの評価と効果	佐藤孝吉 (東京農大)	杉浦克明	21	茨城県の海岸林最前線土壌改良試験地における植栽13年後の生育状況～後背部に植栽した樹種の生育状況～	岩見洋一 (茨城県林業技セン)	宇川裕一	34	エリートツリーの性能評価試験－下刈り回数低減の可能性－	加藤一隆 (育林セ)	高島有哉
15:00～15:15	10	カンボジアにおける2000－2017の森林減少の傾向	齋藤英樹 (森林総研)	佐藤孝吉	22	ブナが優占する冷温帯落葉広葉樹林における春季から夏季のCO2フラックスの変動特性－2017年と2018年の比較－	朝倉健介 (日本大)	岩見洋一	35	スギ第2世代精英樹候補木の着花特性調査	山野邊太郎 (育林セ)	加藤一隆
15:15～15:30	11	藤沢市の三大谷戸における市民団体の関わり方	早川尚吾 (日本大)	井上真理子	23	ブナが優占する冷温帯落葉広葉樹林における南側および北側斜面の土壌呼吸量の差異について	高野和貴 (日本大)	朝倉健介	36	少花粉ヒノキのミニチュア採種園における継続的な種子生産	畑尚子 (東京都農林セ)	山野邊太郎
15:30～15:45	12	大学における森林環境教育論のカリキュラム	井上真理子 (森林総研多摩)	早川尚吾					37	容器への直接播種によるスギコンテナ苗木生産技術の検討	田波健太 (埼玉県森林研)	畑尚子
15:45～16:00									38	播種時期の異なるスギ実生コンテナ苗の成長推移の比較	大平峰子 (育林セ)	田波健太
16:00～16:15									39	コウヨウザン苗木における育苗環境の影響について	山口秀太郎 (育林セ)	大平峰子
16:15～16:30									40	コウヨウザン萌芽林の成長と樹幹特性	近藤禎二 (育林セ)	山口秀太郎
16:30～16:45									41	スギ枝に包埋処理したGA3は他の枝に移行するか	遠藤良太 (千葉県農林研)	近藤禎二
16:45～17:00									42	ドロノキのさし木活着率のクローン間変異	生方正俊 (育林セ)	遠藤良太

○発表プログラム

午前 2

時間	D会場 第2会議室 (23名)				E会場 第3会議室 (23名)				F会場 第4会議室 (18名)			
	番号	題目	講演者	座長	番号	題目	講演者	座長	番号	題目	講演者	座長
9:30～9:45	動 物											
	43	堂平山鳥獣保護区を中心としたニホンジカの行動圏について	森田厚 (埼玉県 森林研)	北島博								
9:45～10:00	44	野外ニホンジカ糞DNAの分解における時間経過の影響	岡崎千尋 (明治大)	森田厚								
10:00～10:15	45	シカ糞を用いたDNAハプロタイプ分析におけるcytochrome b領域の有効性	久保田将之 (東京農総研)	岡崎千尋	特 用 林 産							
					58	青変菌がシイタケ原木栽培に与える影響について	今井芳典 (栃木県 林セ)	皆川勝之				
10:15～10:30	46	圧縮空気を用いたシカの防除品エアータック装置の開発とその効果	新井一司 (東京農総研)	久保田将之	59	マイタケ廃菌床を利用したマイタケ菌床栽培	和南城聡 (群馬林試)	今井芳典				
10:30～10:45	47	栃木県における下層植生衰退度(SDR)と人工林被害との関係把握の試み	高橋安則 (栃木県 林セ)	新井一司	60	培地基材にエリアンススを用いたマイタケ菌床栽培	松本哲夫 (群馬林試)	和南城聡				
10:45～11:00	48	群馬県内のヤマビル分布の拡大と被害対策方法について	坂庭浩之 (群馬林試)	高橋安則	61	ムキタケ短木断面栽培における原木樹種・接合資材別の収量比較	金田一美有 (茨城県 林技セ)	松本哲夫	生 理			
									75	灌水制限によるハードニングでスギコンテナ苗の葉の生理特性は変化するのか	才木真太朗 (森林総研)	細井佳久
11:00～11:15	49	アマミノクロウサギの局所的な遺伝的多様性の評価	熊沢溪一郎 (明治大)	坂庭浩之	62	マツタケ菌根苗の温度変化に伴う菌糸の形態変化	小林久泰 (茨城県 林技セ)	金田一美有	76	降雨遮断による土壌の乾燥がスギ成木の葉の水利用に与える初期影響	井上裕太 (森林総研)	才木真太朗
11:15～11:30	50	天敵寄生蜂によるナガマドキノコバエ類の増殖抑制効果	向井裕美 (森林総研)	熊沢溪一郎	63	ホダ木用可搬型検査装置を用いた汚染ホダ木判定方法	山口晶子 (茨城県 林技セ)	小林久泰	77	スギ人工林における蒸散量の季節変化と土壌の乾燥が蒸散量に及ぼす影響	荒木眞岳 (森林総研)	井上裕太
11:30～11:45	51	昆虫病原性線虫Steinernema carpocapsaeおよび昆虫病原細菌Bacillus thuringiensisの菌床シイタケ害虫ムラサキアツバおよびナミグルマアツバ幼虫に対する駆除効果	北島博 (森林総研)	向井裕美	64	きのこの交配におけるクランプコネクションの検鏡方法の検討	皆川勝之 (新潟県森林研)	山口晶子	78	ヒノキ亜科3種の葉条切片からの形態形成とサワラ単一細胞の誘導と培養の試み	細井佳久 (森林総研)	荒木眞岳

○発表プログラム

午後2

時間	D会場 第2会議室 (23名)				E会場 第3会議室 (23名)				F会場 第4会議室 (18名)			
	番号	題目	講演者	座長	番号	題目	講演者	座長	番号	題目	講演者	座長
		立 地				林 政				樹 病		
14:30～14:45	52	施肥開始から18年間のトドマツ針葉とウダイカンパ落葉の養分濃度変化	長倉淳子 (森林総研)	三浦覚	65	旧足尾町の緑化事業におけるNPOの課題と展望	劉妍 (東京大院)	趙楊然	79	マツノマダラカミキリ羽化脱出日推定方法の検討	岩井淳治 (新潟県森林研)	所雅彦
14:45～15:00	53	山菜の生育地で、空間線量率から放射性セシウムの沈着量を推定するときの課題	清野嘉之 (森林総研)	長倉淳子	66	製材工場における改質リグニン原料製造の温室効果ガス排出と資源消費評価	道中哲也 (森林総研)	劉妍	80	クビアカツヤカミキリ成虫の羽化状況および生態に関する樹種間比較	浦野忠久 (森林総研)	岩井淳治
15:00～15:15	54	コナラ属の切株と萌芽枝におけるセシウム137	赤間亮夫 (森林総研)	清野嘉之	67	窯業用薪利用・調達の変遷－益子焼の事例より－	関向仁志 (宇都宮大院)	道中哲也	81	クビアカツヤカミキリ (Aromia bungii) のフェロモン等を用いた群馬県館林市における野外誘引試験	所雅彦 (森林総研)	浦野忠久
15:15～15:30	55	アカマツ、コナラ、スギの当年枝と葉の放射性セシウム濃度の季節変化	田中憲蔵 (森林総研)	赤間亮夫	68	都道府県総合計画における森林・林業施策	辻井寛 (静岡県庁)	関向仁志				
15:30～15:45	56	東京大学演習林における福島原発事故後7年間の野生キノコ中放射性セシウム濃度の推移	山田利博 (東京大学秩父演林)	田中憲蔵	69	共販所に出荷される宇都宮大学演習林材の特徴と購入に見られる傾向	林宇一 (宇都宮大)	辻井寛				
15:45～16:00	57	コナラの放射性セシウム吸収を決める土壌化学性の主要因は何か	三浦覚 (森林総研)	山田利博	70	福島県三島町における会津桐生産の動向	田中亘 (森林総研)	林宇一				
16:00～16:15					71	秦野市における記名共有林の現状と課題	山下詠子 (東京農大)	田中亘				
16:15～16:30					72	林業就業者における「労働生活の質」の指標に関する一考察	山口和真 (東京農大)	山下詠子				
16:30～16:45					73	近代日本における燃料用木材関連組織の動向	土屋智樹 (東京農大)	山口和真				
16:45～17:00					74	富士山における外国人登山者の属性と意識 -中国と台湾からの登山者に着目して-	趙楊然 (東京大)	土屋智樹				

○発表プログラム

午前 3 午後 3

時間	G会場 第5会議室（18名）			
	番号	題目	講演者	座長
9:30～9:45				
9:45～10:00				
10:00～10:15				
10:15～10:30				
10:30～10:45				
10:45～11:00				
11:00～11:15	林 産			
	82	和歌山県産コジイ材の乾燥試験	齋藤周逸 (森林総研)	小澤雅之
11:15～11:30	83	木材乾燥機を用いた熱処理によるスギ心去り構造材の縦反り抑制	岩崎昌一 (新潟県森林研)	齋藤周逸
11:30～11:45	84	バイオマス熱ボイラ用のチップ含水率について	小澤雅之 (山梨県森林研)	岩崎昌一

時間	G会場 第5会議室（18名）			
	番号	題目	講演者	座長
14:30～14:45	生 態			
	85	森林の垂直構造の簡易な定量的測定法の開発	五十嵐哲也 (森林総研)	塚原雅美
14:45～15:00	86	下刈り量の異なる植栽地における様々な初期サイズのヒノキ苗の活着・成長	壁谷大介 (森林総研)	五十嵐哲也
15:00～15:15	87	都市近郊林における皆伐後9年間の天然更新過程	岩本宏二郎 (森林総研多摩)	壁谷大介
15:15～15:30	88	30年生を超えて伐採されたコナラ林の萌芽状況	荻原謙 (埼玉県森林研)	岩本宏二郎
15:30～15:45	89	林冠ギャップに植栽されたブナ苗の成長特性	塚原雅美 (新潟県森林研)	荻原謙
15:45～16:00				
16:00～16:15				
16:15～16:30				
16:30～16:45				
16:45～17:00				

●「関東森林研究」第 70 巻への投稿論文原稿の募集について

関東森林研究は原則として大会において発表された論文を対象に編集します（編集委員会 運営規則第 3 条）。第 8 回関東森林学会大会で研究発表される方は、発表内容を論文または速報として投稿することができます。投稿を希望される方は、下記により、投稿原稿等の必要書類を編集委員会に提出してください。投稿原稿の提出は郵送で 11 月 6 日（火）必着とします。なお、大会会場での原稿受付は行いませんのでご注意ください。

（1）原稿の投稿

提出物：①記入済みの投稿連絡票 1 部、②論文原稿：原本 1 部、コピー 2 部。速報原稿：原本 1 部、コピー 1 部、③英文原稿の場合、英文校閲済の証明書。

提出先：〒308-8687 茨城県つくば市松の里 1

（国研）森林研究・整備機構 森林総合研究所

関東森林学会 編集委員会 編集委員長 堀靖人

TEL：029-829-8210 FAX：029-874-3720

なお、投稿に関するお問い合わせは、下記宛てメールでお願いします。

E-mail：kantoedit@ffpri.affrc.go.jp

（2）原稿作成上の注意

原稿作成に際しては、関東森林学会ホームページ（<http://www.kantoforest.jp/>）の投稿規定および執筆要領にしたがい、必ず「原稿テンプレート 2018 年度版」を用いて作成してください。提出前に「投稿チェックリスト 2018」で確実に確認した上で提出して下さい。

①投稿規程（2014 年 6 月 6 日改定）、②執筆要領（2018 年 10 月 3 日改定）、③投稿連絡票（第 70 巻用）、④投稿チェックリスト 2018

審査は「関東森林研究」投稿原稿審査要領にしたがって行います。投稿規定、執筆要領を満たしていない原稿でかつ「原稿テンプレート 2018 年度版」を用いて作成していない原稿は受け付けませんのでご注意ください。ご協力のほどよろしくお願いします。

（3）原稿審査

投稿規定、執筆要領を満たしていることが確認された原稿について投稿を受付け、担

当の審査員を決定して審査を開始します。審査の結果、修正を要すると判断された場合は、著者に修正稿の提出を求めます。提出期限までに修正稿が提出されない場合は、投稿を取り下げたものとみなします。受理された原稿は、著者が、受理日を記載した上で、pdf ファイルにして、編集委員会宛てに提出してください。Pdf ファイルはそのまま印刷となります。特に原稿の枚数については、規定の枚数内に収まるように特段のご配慮をお願いします。

なお、第 70 巻は 2019 年 3 月末に第 1 号、7 月末に第 2 号を印刷発行する予定です。2019 年 2 月 8 日までに受理された原稿を第 1 号に、それ以降の受理原稿は第 2 号に掲載する見込みです。

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary school handwriting practice paper. The lines are evenly spaced and run across the entire width of the page. There are no margins, text, or other markings present.

関東森林学会第8期事務局

学会長：土屋俊幸（東京農工大学）
学会副会長・表彰担当理事：坪山良夫（森林総合研究所）
総務担当理事：白木克繁（東京農工大学）
会計担当理事：松本 武（東京農工大学）
行事担当理事：森田 厚（埼玉県寄居林業事務所森林研究室）
編集担当理事：堀 靖人（森林総合研究所）

連絡先 〒183-8509

東京都府中市幸町 3-5-8

東京農工大学農学部 地域生態システム学科 白木克繁

TEL：042-367-5750 E-mail：shirakik@cc.tuat.ac.jp

振込口座 みずほ銀行 府中支店（店番号128）

普通預金口座 1664731

口座名義：関東森林学会（カントウシンリンガッカイ）

入退会の連絡は、会計担当の松本（tmatsu@cc.tuat.ac.jp）にお願いします。